

川柳 250 年 第 4 回実行委員会議事録

日 時：2007 年 5 月 14 日 10 時 30 分～17 時 30 分

会 場：北区・栄町会館

出席者：前田安彦、高田水木（青田煙眉代理）、内田博柳、太田紀伊子、斎藤弘美、大川幸太郎、竹田麻衣子（斎藤大輔代理）、斎藤大雄、雫石隆子、鈴木瑠女、秋山春海、速川美竹、尾藤一泉、八木柳雀、佐藤美文、脇屋川柳。

意見書および委任状：松橋帆波、大野風柳、佐藤岳俊、芳忠淳、伊藤睦子、堺利彦、江畑哲男、北野岸柳、高橋竜平、石田一郎。

記 録：尾藤一泉



① 「川柳発祥の地」 記念碑関連

- ・ 川柳 250 年実行委員会という任意団体による建立は不可能と判明、台東区教育委員会の推薦を得て行う。必要書類は、2007 年 5 月 1 日提出済。
- ・ 維持管理に対し、地元町会および台東川柳人連盟によるアフターケア確認。
- ・ 建立場所について確定。新堀通り三筋二丁目交差点脇・栄久堂側植え込み角。
- ・ 碑は、見積もり設計図どおり。……103 万円＋小文字彫込料（1 字 500 円）
- ・ 「川柳発祥の地」染筆は、台東区長・吉住弘（当会会長）氏。
- ・ 除幕式出席者の名簿準備。……十五世川柳ほか台東川柳人連盟でリストアップ
- ・ 除幕式時に龍宝寺で振る舞いを行う。
- ・ 除幕式を含めた総予算……130 万円

② 川柳 250 年式典関連

- ・ 会場確保。会場費は文化事業減免により 59000 円と決定。
- ・ 文化庁、東京都の後援決定。
- ・ 当日来賓要請
 - ・ 文部科学大臣
 - ・ 東京都知事
 - ・ 台東区教育委員長
 - ・ 地元都議会議員
 - ・ 台東区議会議員
 - ・ 全日本川柳協会会長
 - ・ 川柳人協会会長
 - ・ 地元町会役員（台東川柳人連盟でリストアップ）
- ・ 川柳 250 年式典・句会部会長 ……大川幸太郎
- ・ 会場係 ……内田博柳（係長）＋つくばね、川柳公論、台東川柳（8月24日設営、翌日の打合せを兼ねる）
- ・ 川柳 250 年式典・句会受付 ……太田紀伊子（係長）＋つくばね番傘川柳会スタッフ（着到簿、会費受付、御祝受付、記念品・句箋渡し、発表書籍予約）
- ・ 懇親会受付 ……伊藤睦子（係長）＋台東川柳人連盟スタッフ
- ・ 来賓・選者係・句会配景 ……鈴木瑠女（係長）＋川柳公論スタッフ（名札・胸章準備、句会商品準備、招待者、選者、スタッフの弁当準備）
- ・ 公式記録係 ……尾藤一泉（係長）＋竹田麻衣子、（ ）
- ・ 川柳 250 年式典司会 ……堺利彦
- ・ 平成万句合表彰司会 ……松橋帆波
- ・ プレゼンター ……脇屋川柳、雫石隆子
- ・ 表彰補助 ……（ ）、（ ）
- ・ 講演会司会 ……秋山春海
- ・ 句会司会 ……内田博柳、（ ）
- ・ 懇親会場への誘導 ……（係長）
- ・ 懇親会司会 ……藤井未成、（ ）
- ・ アトラクション ……江戸伝統芸・かっぽれ 梅后流（お車代）
 ……津軽三味線 千草会
 ……
- ・ 手締め ……（ ）
 - * 会計は、各係で集金・経理を行い、事務局で最終整理。
 句会会計：太田紀伊子
 懇親会会計：伊藤睦子
 雑費会計：鈴木瑠女
 - * 広報・メディア担当 ……前田安彦実行委員長
 - * （ ）内未定。その他詳細については、逐次煮詰めて進める。

③ 川柳 250 年＜平成万句合＞関連

- ・ 文化庁、東京都の後援事業として認定。
- ・ 3月5日より募集開始。
- ・ 現在まで事務局宛ハガキ 3200 通、約 12000 句。
- ・ Web 募集 233 件約 600 句。
- ・ かつば連、越後連、中の島連、青空連、葛西連、新堀連、桜木連、新葉連、その他数吟社でポストによる募集活動進行中。
- ・ 「公募ガイド」「懸賞なび」誌による広告。
- ・ 「川柳マガジン」および実行委員関連吟社ほか川柳誌による広告が散見される。
- ・ 台東ケーブルテレビ、「浅草」、FM 放送などメディア数社において募集情報発信。
- ・ 投句用紙を印刷したハガキを作成。 ・ <つくば連>を新規に興す。
- ・ Web 投句窓口、松橋帆波さんに投句ハガキの入力依頼。

③ 目で識る川柳 250 年展関連

- ・ テプロ浅草館、北海道立文学館の開催は、文化庁後援事業として認定。現在、新津美術館展の後援を文化庁に申請中。
- ・ テプロ浅草館、北海道立文学館の展示内容について、それぞれ検討中。北海道では、独自の委員会を結成して準備中。
- ・ 台東の川柳人を中心に、古写真、古い作家の色紙、短冊などを借用。展示物の確保に努めている。
- ・ 朱雀洞文庫において、昨年 10 月以来新規購入史料 55 点。継続収集中。
- ・ 可有忌において、竹本瓢太郎氏より史料提供の協力を得る。
- ・ 2008 年伊勢崎展は、4～5 月予定。
- ・ 斎藤大雄氏より久良伎作品ほかのリスト提供あり。
- ・ 展示物の具体的リストアップと展示体系を事務局より早期に提出すること。

④ 川柳 250 年協賛行事

- ・ 現状最終は、別紙 1 の通り。発祥の地の台東区、北海道および新潟の各川柳人連盟により川柳 250 年の行事化。
- ・ 実行委員会の外部では、秋田・川柳吟の笛吟社で「祝・川柳発祥 250 年吟の笛川柳大会」、東京・川柳研究社で「川柳発祥 250 年記念川柳研究誌上句会」。
- ・ 公募川柳のバイエル製薬（尾藤一泉選）、箸の兵左衛門（尾藤一泉選）、サッポロビール（尾藤三柳選）において川柳 250 年協賛協力を獲得。
- ・ 読売日本テレビ文化センター、公募ガイド社、朝日カルチャーセンターにて、協賛特別講座の開設。
 - * 川柳 250 年・川柳で歩く江戸東京（読売日本テレビ文化センター・尾藤一泉、4 月～毎月）
 - * 川柳発祥 250 年・川柳セミナー（公募ガイド社・尾藤三柳、5 月 19 日／8 月 19 日）
 - * 公開講座「川柳 250 年—名作で学ぶ」講座（朝日カルチャーセンター、速川美竹、9 月 30 日）

⑤ 川柳 250 年グッズを作成、側面から川柳を発信

- ・ 別紙 2 のようなグッズを制作。広報、大会記念品、協力への御礼などに使用。
- ・ 川柳学会、新堀阿部川川柳会、川柳公論表彰句会で販売、売上は基金へ。
- ・ 人気商品（てぬぐい等）については、再度調達する必要あり。
- ・ 川柳記念メダルの作成準備中。
- ・ 純銀製メダル希望者は、個数を事務局まで依頼。1 個：10000 円（桐箱入）

⑥ 川柳 250 年事業の情報発信

川柳界へは、実行委員関連吟社および県川柳人協会、総合誌「川柳マガジン」を中心に情報発信。特に川柳発祥の地に誇りを感じてくれている台東区を重点に行事、周知を展開、メディアの関心を誘導する戦略で進める。

ほぼ、所期の目的を達成、川柳 250 年に関する問合せ等が連日はいる状況となる。

今日までの主な広報活動は以下の通り。

- ・ 川柳 250 年チラシ 12 月発行 10000 枚
- ・ 川柳 250 年チラシ 5 月発行 20000 枚
- ・ 「川柳マガジン」 3 月号 2 ページ (有料)
- ・ 「川柳マガジン」 4 月号 2 ページ (有料)
- ・ 「川柳マガジン」 5 月号 1 ページ (有料)
- ・ 「浅草」5 月号に <川柳 250 年平成万句合> 募集記事
- ・ 川柳各誌 「川柳学」「柳都」「川柳公論」「川柳展望」「宮城野」「オホーツク」「ふんえん」「中日川柳」「蟹の目」「ふあうすと」「川柳塔」「ねぶた」「えんぴつ」「ぬかる道」「川柳研究」「川柳きやり」ほか
- ・ 台東ケーブルテレビ 4 月 21 日～5 月はじめ (平成万句合)
- ・ NHK 「ラジオ深夜便」4 月 (実行委員：伊藤睦子・職人の話の中で川柳 250 年紹介)
- ・ NHK 「いっと六けん」4 月～ (選者：杉山昌善氏・川柳 250 年を紹介)
- ・ Fm ラジオ「井門宗之アプローチ」4 月中 4 回 (尾藤一泉・川柳 250 年を紹介)
- ・ フジテレビ「トクだね」5 月 8 日 (出演：内田博柳。川柳全般・台東区の川柳 250 年)
- ・ 《台東区民新聞》 1 月 1 日：川柳発祥 250 年
4 月 5 日：平成万句合
- ・ 江戸東京博物館、たばこと塩の博物館、テプロ浅草館、北海道立文学館にてチラシ配付。
- ・ 「公募ガイド」「懸賞なび」で川柳 250 年記事。
- ・ ニュースリリース 10 回発行。Web および任意配付。
- ・ かつば橋公西会商店街で<川柳 250 年平成万句合>のフラッグ作成。60 本。
- ・ 龍宝寺、菊屋橋後援および周辺の商店に川柳 250 年幟およびポスター掲示。
- ・ 台東区内、銀行・郵便局、銭湯において川柳 250 年川柳作品展。
- 東京都庁、台東区役所、台東区生涯学習センターでチラシ配付準備中。
- 新チラシを主要吟社に発送予定。……全国 500 中 340 社に送付終了。
- 台東区営バス・めぐりん全車に広告 (B2) 掲載予定。5 月末より実施・15 台分。

⑦ 川柳 250 年基金

実行委員基金をベースに運営に取り掛かり、広報とともに一般からの基金も集まっている。公募川柳各社への協賛呼びかけを行い、数社から基金を獲得。台東川柳人連盟は、川柳発祥の地としての誇りを訴え、地元企業、団体からの基金を集めている。

- ・ 現在、114 件、1171.5 口、2343000 円。
- ・ 北海道立文学館は、目で識る川柳展輸送費として 35 万円を準備、基金に組み入れる予定。
- ・ 川柳メダル作成費として匿名氏より無償融資 50 万円。

● 最低目標額の約 40%を達成。さらなる基金集めにご協力ください。

⑧ 川柳 250 年式典後の懇親会および宿泊

台東区生涯学習センターより徒歩5分の浅草ビューホテルを拠点宿泊施設・懇親会場として準備中。

- ・ 記念句会選者・平成万句合選者および来賓については、2 泊を実行委員会で負担。懇親会へもご招待扱いとさせていただく予定です。8 月 25 日当日は、浅草サンバカーニバルと重なり、混雑が予想されます。準備のため宿泊日を早めにご指定ください。
- ・ 実行委員の方々につきましては、実行委員会で 24、25 両日の費用負担をいたします。

	8 月 24 日 (金)	8 月 25 日 (土)
シングル (1 名)	13750 円	15750 円
ツイン (2 名)	21000 円	27500 円

現在の宿泊予定者

	8 月 23 日(木)	8 月 24 日(金)	8 月 25 日(土)	8 月 26 日(日)
磯野いさむ先生 (選者)		○	○	
大野風柳 (実行委員)		○	○	
斎藤大雄 (実行委員)		○	○	
天根夢草 (実行委員)		○	○	
雫石隆子 (実行委員)		○	○	
北野岸柳 (実行委員)		○	○	
八木柳雀 (実行委員)		○	○	

⑨ その他

- ・ のぼり旗、ポスター、横幕、大型幕川柳肖像 (2m×2m) など必要な場合は、事務局へ種類と数量を文書で依頼する。送料のみ負担をお願いする。
- ・ グッズ販売に関しては、定価の 80%で実行委員会内には納付。種類、数量は事務局まで。
- ・ 本年中開催の川柳公募企画の依頼があった場合は、できるだけ協賛を求め、「川柳 250 年」を関するよう、主催者へ依頼。
- ・ 8 月 26 日に、地方からの出席者へのサービスとして「江戸府内・川柳史跡バスツアー、体験する川柳 250 年」を開催予定。コース、費用を検討する。

以上

付 記：なお、第 4 回の実行委員会でも、前田実行委員長のご意向により、ワイン研究会が行われ懇親



を深めました。前田先生精選のワイン「レ・グラヴ・ド・ブリニヤック AC ボルドーシペリエール 赤 2000」、「レ・グラヴ・ド・ブリニヤック AC ボルドーシペリエール 赤 2003」、「シャトー・デュ・ムーラン AC サント・クロワジュモン 白 2001」、「ラウル・クレルジェ醸造 AC ボジョレ 赤 2004」、「ラウル・クレルジェ醸造 AC ブルゴーニュ・グラン・トルデネール ピノ・ノワール種とガメイ種の混醸、軽快 赤 2000」、「ラウル・クレルジェ醸造 AC アロース・コルトン 赤 2000」、「バレラ・ザランツ 赤 2000」を並べ、前田先生の蘊蓄を伺い、一同、大川幸太郎氏の音頭で乾杯、事業の成功を誓う。



雫石先生お土産の仙台名物・焼蒲と、前田先生ご推奨？のアンパンを肴に、7種のワインを試す。園遊会級というワインには、一同、一口試そうと次々



手が伸びる。はじめは、前田先生秘蔵の高級ワインの味を楽しんだが、ひとまわりする頃には南米産の「やや下品…」というワインも美味しく感じられるようになり、自分の舌のいい加減さを知った。



飲むほどに和み、いいアイデアが浮ぶ。実行委員会の議事に加えて、ワイン会の雑談アイディ



アも採用とする。

遠くから来られた斎藤大雄先生、八木柳雀先生、雫石隆子先生はじめ、お忙しい中のご出席に事務局として頭の下がる思いでお迎えした。

文末ではございますが、付記して事務局より深く御礼申し上げます。

